



# 第11期中間報告書

平成25年4月1日▶平成25年9月30日

サクサ ホールディングス株式会社

証券コード 6675



代表取締役社長 越川 雅生

株主の皆様には、平素より「サクサグループ」に対しまして、格別のご高配、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに、当社第11期第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)における業績の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間のわが国の経済においては、政府の経済政策を背景とした景気の緩やかな回復は見られましたが、為替や株式市場の動向、中国などの新興国経済の減速、米国および欧州財政不安など先行きが不透明な中で推移いたしました。

このような経済環境の中で、当企業グループは、業績を早期に回復するための経営改善施策として、「事業の選択と集中」「事業の成長戦略」および「総原価の低減」の実施を公表し、取り組みを開始いたしました。

まず、事業の成長戦略の一環として、オフィス市場向けに、安心かつ効率的な業務をサポートするアプリケー

ションサーバ「SB2000」を発売いたしました。また、コアコンピタンスを活かし、音声と情報通信を融合させた通信ネットワーク関連システムとして、キーテレホンシステム「PLATIA Std」「PLATIA Pro」および「PLATIA Ult」をシリーズで発売し、様々なオフィス規模に適したユニファイドコミュニケーションを実現してまいります。さらに、これらの商品と様々なデータを活用し、オフィス市場と社会インフラ市場の課題をスピーディに解決するシステムインテグレーションやサービスを提供いたします。

次に、総原価の低減として、従来からの取り組みに加えて、中核事業会社であるサクサ株式会社において組織変更および開発の効率化を進め、事業推進体制の強化とスピードアップを図ってまいります。

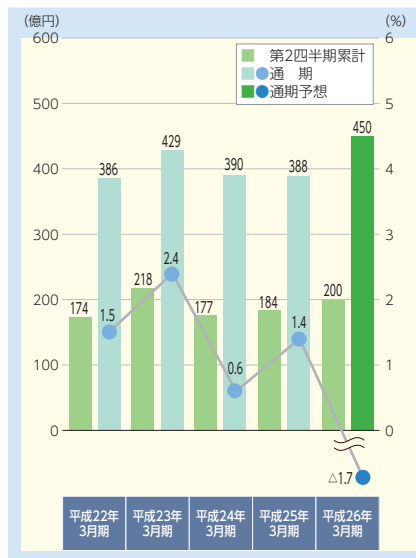
当第2四半期連結累計期間の売上高は、加工受託の受注増加等により199億8千万円(前年同期比8.7%増)となりました。

利益面では、総原価の低減に努めてまいりましたが、新商品開発費用の増加や円安基調による材料費の高騰により経常損失が6億9千4百万円(前年同期経常利益2億3千万円)、四半期純損失が3億9千6百万円(前年同期純利益1億2千1百万円)となりました。

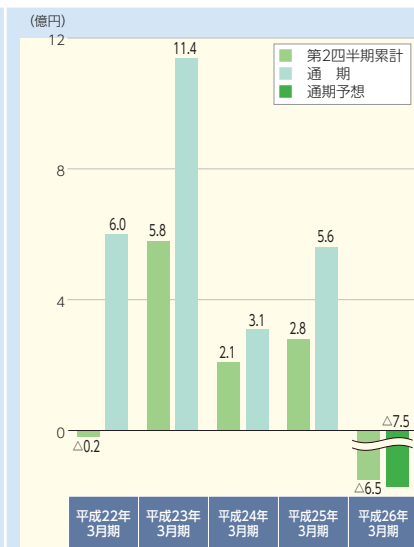
今後とも株主の皆様のご期待にお応えするため、なお一層の努力を重ねてまいります所存でございますので、引き続きご支援、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

# 連結業績ハイライト

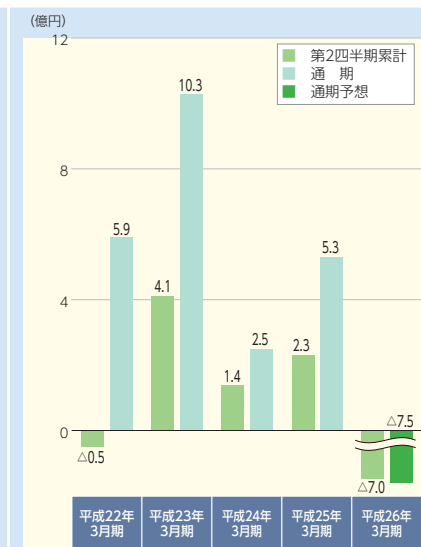
■売上高(左目盛) ●売上高経常利益率(右目盛)



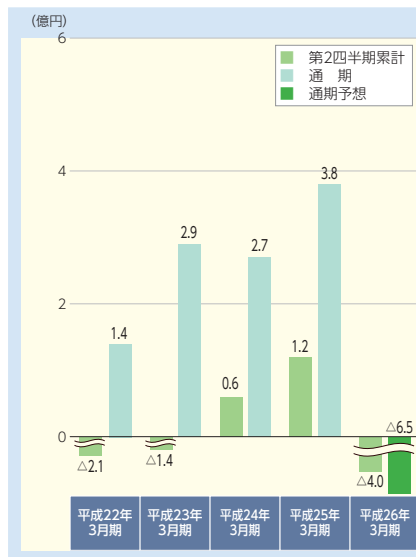
■営業利益



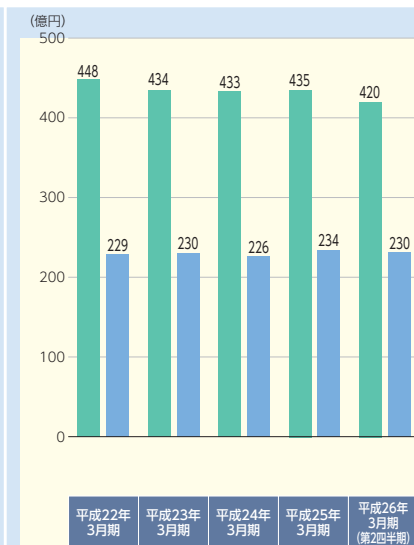
■経常利益



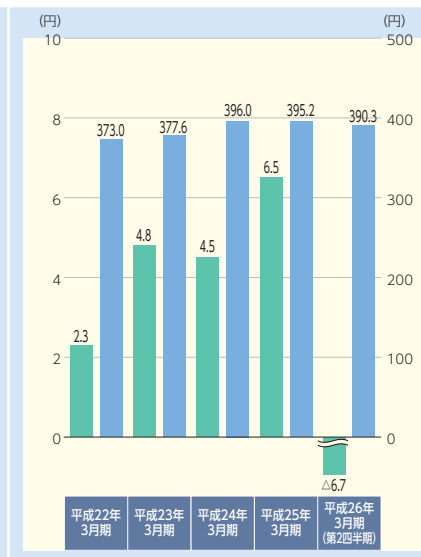
■当期純利益



■総資産 ■純資産



■1株当たり当期純利益(左目盛) ■1株当たり純資産(右目盛)



※ グラフの数値については、表示単位未満を四捨五入しております。

## ビジネス規模に合わせたユニファイドコミュニケーションを実現する、 ビジネスコミュニケーションシステム「PLATIA Pro/Ult」を販売開始！

サクサ株式会社(以下、「サクサ」という。)は、ビジネスコミュニケーションシステム「PLATIA(プラティア)」シリーズ「PLATIA Std(プラティア・スタンダード)」(平成25年4月販売開始)に続き、「PLATIA Pro(プラティア・プロフェッショナル)」「PLATIA Ult(プラティア・アルティメイト)」を平成25年9月から販売を開始いたしました。

「PLATIA Pro」「PLATIA Ult」は、「PLATIA Std」の豊富なビジネスホン機能を継続するとともに、ビジネス規模の成長に合わせ、最大384ポートまで柔軟にシステムを拡張できます。また、これまでご好評いただき実績のあるBluetoothを継続採用したコードレス電話機などの各種コードレス電話機を収容できるほか、スマートフォン、SIP

電話機、IP音声会議ホンなど30機種ものさまざまな端末をご利用いただけます。さらに、コールセンタ、ホテルおよび病院など、さまざまな業種・業態向けシステムと連携<sup>\*1</sup>でき、効率的かつ機能的なオフィスネットワークの構築を可能とするユニファイドコミュニケーション<sup>\*2</sup>を実現しております。

サクサは、「PLATIA」シリーズを中小規模オフィス向けソリューション展開の中核システムと位置づけ、統合脅威アプライアンス「SS1000」やファイルサーバ「SB2000」などとの連携も含めた機能拡充を図り、お客様が安心、安全、快適で便利な仕事に従事できるオフィスソリューションを展開してまいります。

※ 1 「PLATIA Pro/Ult」でご利用いただけます。

※ 2 電話、メール、テレビ会議およびWeb 会議などのさまざまな通信手段やコミュニケーション手段を統合することによりもたらされる効率的なコミュニケーション。



「PLATIA シリーズ」(上段左から「Std」「Pro」「Ult」、下段 多機能電話機)

## 中小規模オフィス向け「Office AGENT」シリーズを提供開始! 安心かつ効率的な業務を実現する先進ファイルサーバ「SB2000」を販売開始!

サクサ株式会社(以下、「サクサ」という。)は、これまで取組んできた中小規模オフィス向けソリューションを「Office AGENT」と位置づけ、そのシリーズの一つとして、ファイルサーバ「SB2000」を11月8日(金)から販売を開始いたしました。

近年のIT化の進展により、企業が抱えるデータ量は加速度的に増加しています。また、ウィルス、スパイウェアおよび不正アクセス等に対する情報セキュリティの強化、さらには、業務効率化およびコミュニケーションの充実に向けた情報の共有化が求められていますが、中小規模オフィスでこれらに対応したシステムを導入・活用するためには、システム管理者が必要不可欠であります。また、システムの運営管理には人的負荷がかかり、業務の生産性低下が懸念されます。

このような背景の中、サクサは、これまで培ったネットワーク商材のオフィスソリューション提供ノウハウを集結したサクサ「Office AGENT」シリーズ「SB2000」の販売開始を機に、中小規模オフィスにおけるお客様視点のオフィス運営代理人システムとして、安心、安全、快適で便利な空間を提供してまいります。

「SB2000」は、OSに市場で高い評価を受けているWindows server2012を採用し、設置時から5年間の無償機器保証を付帯しております。また、専門の技術者がお客様先へ訪問、修理を行いますので、導入後も安心してご利用いただけます。そのほかデータバックアップ、ファイル共有および遠隔地からアクセスできるなどお客様の業務を支援いたします。



# Office AGENT

# 四半期連結財務諸表(要約)

## ● 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (平成25年3月期)	当第2四半期末 (平成26年3月期)
(資産の部)		
流動資産	23,679	22,100
固定資産	19,831	19,832
有形固定資産	10,985	10,912
無形固定資産	4,983	4,868
投資その他の資産	3,862	4,051
繰延資産	31	32
資産合計	43,541	41,965
(負債の部)		
流動負債	11,929	10,726
固定負債	8,230	8,146
負債合計	20,159	18,872
(純資産の部)		
株主資本	23,033	22,460
資本金	10,836	10,836
資本剰余金	6,023	6,023
利益剰余金	7,339	6,766
自己株式	△1,165	△1,166
その他の包括利益累計額	199	486
少数株主持分	149	145
純資産合計	23,381	23,092
負債純資産合計	43,541	41,965

## ● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計 (平成25年3月期)	当第2四半期累計 (平成26年3月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,537	784
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,398	△1,054
財務活動によるキャッシュ・フロー	△341	19
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△1
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△204	△251
現金及び現金同等物の期首残高	6,921	6,181
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,717	5,929

※P5に記載の数値については百万円未満を切り捨てております。

## ● 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

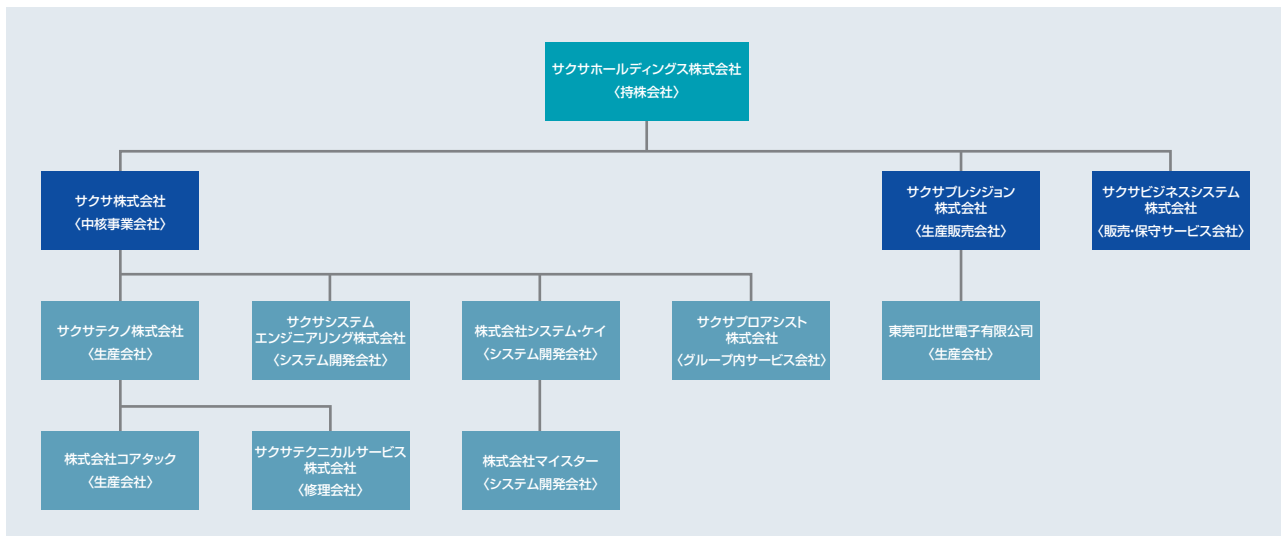
科目	前第2四半期累計 (平成25年3月期)	当第2四半期累計 (平成26年3月期)
売上高	18,387	19,980
売上原価	12,981	15,957
売上総利益	5,406	4,023
販売費及び一般管理費	5,128	4,670
営業利益又は営業損失(△)	277	△647
営業外収益	205	210
営業外費用	252	258
経常利益又は経常損失(△)	230	△694
特別利益	67	4
特別損失	81	17
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	216	△707
法人税等	94	△306
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	122	△400
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	121	△396

## ● 四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計 (平成25年3月期)	当第2四半期累計 (平成26年3月期)
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	122	△400
その他の包括利益	△123	288
四半期包括利益	△1	△112

■ サクサグループ (12社)



● サクサ ホールディングス 株式会社

設立年月日 平成16年2月2日

資本金 10,836,678,400円

従業員数 1,344名(連結)、23名(単独)

本社 東京都港区白金一丁目17番3号 NBFプラチナタワー

事業内容 情報通信システムの機器および部品の開発、製造および販売を主として行う子会社の経営管理等

取締役および監査役

代表取締役社長	越川 雅生	取締役	木村 廣志	常勤監査役	大内 正樹
代表取締役副社長	松尾 直樹	取締役	皆川 忠志	監査役	羽鳥 勝彦
常務取締役	鈴木 譲	取締役	大坂 貢	監査役	河野 敬
常務取締役	竹松 睦男	取締役	畠山 俊也	監査役	猪鼻 正彦
取締役	村田 直光	取締役	池田 敬造		

※1. 畠山俊也および池田敬造の両氏は、社外取締役であります。

※2. 河野敬および猪鼻正彦の両氏は、社外監査役であります。また、両氏を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定し、届け出ております。

## 株式の状況

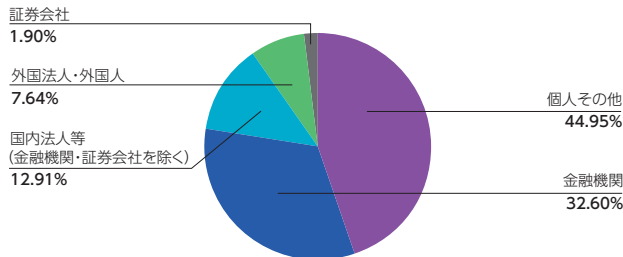
- 発行可能株式総数 ..... 240,000,000株
- 発行済株式の総数 ..... 62,449,621株
- 株主数 ..... 7,211名

## 大株主

株主名	持株数	持株比率
沖電気工業株式会社	8,060千株	13.71%
日本電気株式会社	2,360千株	4.01%
株式会社みずほ銀行	2,339千株	3.97%
株式会社三井住友銀行	1,767千株	3.00%
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,173千株	1.99%
サクサグループ従業員持株会	1,022千株	1.73%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	974千株	1.65%
株式会社三菱東京UFJ銀行	959千株	1.63%
みずほ信託銀行株式会社	900千株	1.53%
サクサグループ取引先持株会	784千株	1.33%

- ※1. 当社は、自己株式3,660千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
- ※2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。
- ※3. 沖電気工業株式会社の持株数には、沖電気工業株式会社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式6,059千株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 沖電気工業口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)
- ※4. 株式会社みずほ銀行の持株数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式1,778千株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)

## 所有者別分布状況



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
期末配当の基準日	3月31日	
定時株主総会	6月	
基準日	3月31日 その他、必要があるときは、あらかじめ公告して定める日とします。	
公告掲載URL	http://www.saxa.co.jp/ ※ 当社の公告の方法は、電子公告としております。ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
郵便物送付先	証券会社に口座を お持ちの場合	証券会社等に口座を お持ちでない場合 (特別口座の場合)
電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル0120-288-324 (土・祝日を除く 9:00~17:00)	
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店・全国各支店 および営業所 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 みずほ銀行	本店および全国各支店 本店および全国各支店
ご注意	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。	